

12月3日～9日は
障害者週間

暮らしの中の 「ユニバーサルデザイン」

私たちの暮らしの中には、さまざまな人に配慮され、障がいのある人もない人も
使いやすく工夫されている「ユニバーサルデザイン」があります。
今回は、身近なところで見られる「ユニバーサルデザイン」をご紹介します。

問合せ先 地域福祉課障がい者支援グループ (あいあい ☎84-3313)

令和3年度
「障害者週間のポスター」



◎施設で見られる ユニバーサルデザインの例

出入口



段差がなく、車いすやベビーカーの利用者も通りやすく、高齢者や妊娠している人なども歩きやすくなっています。

案内板



日本語が読めない人でも分かるように、多言語で表示しています。

2段手すり



身長の高低に対応できるように2段になっています。手すりに「階」を示す点字版が付いているものもあります。

蛇口 (センサー式、レバー式など)



握力の弱い子どもや高齢者でも、簡単に水を出すことができます。衛生面でも安心です。

引き戸



軽くドアノブを引くだけで楽に開閉できます。子どもなども開閉しやすいよう、ドアハンドルが低い位置にある扉、ドアの向こうに人がいるかどうかを確認できる扉などがあります。

多機能のトイレ



車いすやベビーカーの利用者が利用しやすいように、スペースを広くしてあります。オストメイト(人工肛門や人工膀胱を造設した人)のための設備があるトイレもあります。

三重おもいやり駐車場利用証制度



おもいやり駐車場の一例 【出典】三重県ホームページ

車いすの利用者は、車の乗り降り時に広いスペースを、移動時に時間を必要とするため、施設には、幅が広く、建物の出入口に近い「車いす使用者用駐車施設」が設けられています。しかし、必要のない人の不適切な駐車が見られることから、「おもいやり駐車場」ができました。

体が不自由な人、介護が必要な人、妊娠している人、けがをしている人など、車の乗り降りや歩くことが難しい人が申請でき、利用証を車のルームミラーなどに掲示して利用します(地域福祉課障がい者支援グループで申請できます)。

「おもいやり」の心と「ゆずりあい」の気持ちで、適正な利用をお願いします。

ユニバーサルデザインとは

年齢、性別、言語、障がいの有無などにかかわらず、誰もが利用しやすいようにまちづくりやものづくり、情報やサービスの提供を行っていくことです。

ユニバーサルデザインの7原則

- 1 誰でも使えて手に入れることができる(公平性)
- 2 柔軟に使用できる(自由度)
- 3 使い方が簡単に分かる(単純性)
- 4 使う人に必要な情報が簡単に伝わる(分かりやすさ)
- 5 間違えても重大な結果にならない(安全性)
- 6 少ない力で効率的に、楽に使える(省体力)
- 7 使うときに適度な広さがある(スペースの確保)

ユニバーサルデザインとバリアフリーとの違い

バリアフリーは、もともとある建物や設備に高齢者や障がいのある人などにとって『障壁(バリア)』になっている部分があれば取り除いていこう』という考え方です。

一方、ユニバーサルデザインは、始めからできる限り多くの人にとって利用しやすいよう、誰にとっても『バリアが生じないように配慮してつくりよう』という一歩進んだ考え方です。

バリアフリー

段差があつて車いすなどでは通れないので、後からスロープを付ける

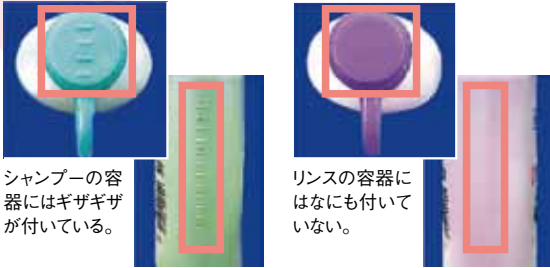
ユニバーサルデザイン

始めから段差のない通路にして、どんな人も公平に使えるようにする



◎ほかにこんなユニバーサルデザインがあります

シャンプー等の容器



シャンプーの容器にはギザギザが付いている。

リンスの容器にはなにも付いていない。

目を閉じていてもシャンプーかリンスが分かるよう、容器にギザギザが付いている方がシャンプー、ない方をリンスとしています。

自動販売機



ジュースなどを選ぶボタン、お金を入れるところ、取り出し口を真ん中の高さにまとめ、小さな子どもや車いすの利用者も買いやすいようになっています。

2リットルサイズのペットボトル



ペットボトルの中央に「くびれ」が付けられていて、指が掛かって、持ちやすいよう工夫されています。

ウェブアクセシビリティ



ウェブアクセシビリティ対応例

亀山市ホームページ

誰もが、ホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できることです。文字の大きさや色、音声読み上げソフトへの対応などの配慮がされています。

**障がいの有無に関わらず、互いに尊重し、
支え合いながら暮らせる共生社会を目指しましょう!**

— 市立図書館コラボ企画 —

「ユニバーサルデザイン・心のバリアフリー特集」開催中!



誰もが住みよいまちづくりのために、「ユニバーサルデザイン」や「心のバリアフリー」を学びませんか?関連図書を多数準備し、お待ちしております。

とき 11月27日(土)~12月23日(木)
(休館日 毎週火曜日)

ところ 市立図書館

